

水野九右衛門先生年譜

元号	西暦	年齢	できごと
大正10年	1921	0歳	5月7日 鯖江市に生まれる。
昭和18年	1943	22歳	東洋大学文学部文学科(人形浄瑠璃 熊野を研究)卒業、学徒出陣する。
昭和20年	1945	24歳	丹生郡越前町(旧宮崎村)熊谷の水野知子と結婚。自宅周辺の水田・山麓にある越前焼陶片を集めて、越前焼研究を始める。
昭和22年	1947	26歳	丹生高等女学校(現福井県立丹生高等学校)教諭となる。 小山富士夫(1900-1975)が越前を含めた六古窯を提唱する。
昭和23年	1948	27歳	小山富士夫が越前古窯調査のため水野家に一週間滞在、北野七左衛門(1912-1989)を交えて三人で越前焼について語る。この後小山の指導を受けながら越前焼の研究を本格的に始める。
昭和24年	1949	28歳	福井県立丹生高等学校に郷土研究部を作り、その紀要に「越前古窯の研究」を発表。その後、六古窯が日本に広まる。
昭和28年	1953	32歳	3月 福井銀行武生支店に小山富士夫を招き、越前古窯の記念講演を行う。12月 丹生郡の文化財調査・保存・研究を目的とした丹生郡文化財研究会を作り、理事となる。
昭和29年	1954	33歳	越前市公民館(旧武生市)・日本陶磁協会武生支部共催で「陶磁展」が武生市公会堂(現武生市公会堂記念館)で開催される。古越前50点展示する。(11月13日から15日)
昭和30年	1955	34歳	10月 越前市(旧武生市)京町の浄秀寺で「越前古窯展」を開催する。この頃より夏休みを利用して毎年東京国立博物館・小山富士夫宅などに長期滞在、古陶磁の研究を行う。
昭和32年	1957	36歳	越前市(旧武生市)広瀬古窯群の発掘調査を行う。
昭和34年	1959	38歳	福井市(旧丹生郡清水町)小羽遺跡の発掘調査を行う。
昭和35年	1960	39歳	6月 名古屋大学講師榑崎彰一(1925-2010・1月)を越前古窯に案内、以後30年に及ぶ交流が始まる。8月 越前市(旧武生市)野々宮廃寺の発掘調査を行う。
昭和37年	1962	41歳	福井県立岡島美術館で「越前古窯展」を開催する。
昭和39年	1964	43歳	丹生郡越前町(旧朝日町)仲条古墳の発掘を行う。
昭和40年	1965	44歳	名古屋大学講師榑崎彰一と共同で越前町(旧宮崎村)小曾原神明が谷須恵器窯と越前町(旧織田町)織田平等の上大師谷窯の調査を行う。
昭和43年	1968	47歳	4月28日 水野古陶磁館開館 20年間の研究成果を公開する。
昭和44年	1969	48歳	越前における石造美術・民俗・窯業などを研究する「越前文化の会」を作る。
昭和46年	1971	50歳	福井県陶芸館開館 審査会委員となる。
昭和47年	1972	51歳	丹生郡越前町(旧宮崎村)熊谷の奥堂の谷窯の発掘調査を行う。(48年まで)
昭和50年	1975	54歳	小説「炎の舞」に水田先生の名前で登場する。 越前町(旧宮崎村)小曾原の上長佐窯の発掘調査を名古屋大学助教授榑崎彰一・福井県陶芸館・宮崎村教育委員会と共同で行う。 越前焼研究の集大成として、光美術工芸者より「時代別越前名品図録」を出版する。
昭和51年	1976	55歳	やきもの文化の向上により福井新聞社より文化賞を受賞する。
昭和52年	1977	56歳	丹生郡越前町(旧宮崎村)小曾原上長佐窯の第2次発掘調査を名古屋大学助教授榑崎彰一・福井県陶芸館と共同で行う。
昭和54年	1979	58歳	丹生郡越前町(旧宮崎村)熊谷の水上窯の発掘調査を行う。
昭和56年	1981	60歳	福井県教育委員会より福井県文化賞を受賞する。
昭和57年	1982	61歳	福井県立丹生高等学校を定年退職する。実験考古学として古窯の復元と焼成方法の研究を始める。福井考古学会発足 副会長となる。
昭和58年	1983	62歳	福井県窯業誌の責任編集を山口信嗣と共に引き、刊行する。 山本有三記念郷土文化賞を受賞する。
昭和60年	1985	64歳	小山富士夫記念賞を受賞する。
昭和61年	1986	65歳	自宅近くに上長佐窯をモデルとした越前窯を復元する。国立歴史民俗博物館教授吉岡暢康等と丹生郡越前町(旧織田町)平等岳の谷窯の発掘調査を行う。 越前焼が通商産業省より伝統的工芸品の指定を受ける。
昭和62年	1987	66歳	念願の復元窯で焼成実験を始める。
昭和63年	1988	67歳	復元窯を使い、2回目の実験を行う。福井考古学会会長に就任する。
平成元年	1989	68歳	9月25日死去。
平成9年	1998		水野先生の遺族より福井県陶芸館へ、収集した陶磁資料を一式寄贈する。